



発行日：令和2年9月

編集・発行：矢作川流域圏懇談会 事務局

◆第7回市民部会 WG を開催しました！

7月14日（火）に今年度初の市民部会 WG を、新型コロナウイルス予防対策を徹底した上で豊田市にて開催しました。今回の市民部会 WG では、今年度実施する第1回勉強会（バスツアー）や今後の勉強会について意見交換と内容の具体化、11月に開催される「三河湾大感謝祭」への参加について、話し合いました。



日時：令和2年7月14日（火）14:10～16:30

場所：豊田市崇化館交流館4階 第2会議室

参加者：14名（内オンライン参加1名） ※事務局を含む

◆主な会議内容

黒田様が市民部会座長を辞任されたことに伴い、今年度より新体制で市民部会を進めてまいります。

【新座長】光岡金光様 【副座長】井上祥一郎様、山本薫久様

1. 「第1回勉強会（バスツアー）」の位置づけ



地域部会（山・川・海）が抱える課題などを流域圏懇談会全体での共通認識とし、つながりを深めていくことを目的に、昨年度の第6回市民部会 WG で取り上げられたバスツアーについて、計画案の検討を行いました。

【バスツアー計画案】

※7月31日、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、順延が決定

- ・ 名称：山から海まで2日がかりの「矢作川の全て」バスツアー
- ・ 実施日：9月7日（月）・9月8日（火）の2日間。各々日帰りを実施。
- ・ 参加人数：50人程度（*参加は矢作川流域圏懇談会のメンバーに限定）
- ・ 行程計画



1日目（9/7）：9:00 豊田市駅出発→17:00 頃 豊田市駅解散

山部会：水源涵養モニタリング調査サイト、奥矢作森林塾・矢作ダム、川部会：阿摺ダム下流ソジバ

2日目（9/8）：9:00 豊田市駅出発→17:00 頃 西尾駅→18:00 頃 豊田市駅解散

川部会：明治用水頭首工、安永川トンネル、家下川、海部会：矢作川浄化センター、吉田海岸

2. 今後の勉強会で話し合いたい内容について



昨年度の市民部会で提案のあった勉強会の実施について、テーマ、実施時期などについて、検討を行いました。

【勉強会のテーマ】

- ① ネオニコチノイド系（以下、ネオニコ系）農薬の現状と環境や生物への影響について
- ② マイクロプラスチックの現状と環境や生物への影響について

【実施時期】12月頃

【今後の検討事項】

- ・ 2テーマについて、講師の方を決める。 ・ 勉強会実施日時を講師と調整し、決定する。
- ・ 勉強会実施について、情報発信の方法を検討する。

3. 流域連携イベント 「三河湾大感謝祭」について

※8月24日、新型コロナウイルスの感染状況等を鑑み、中止が決定（愛知県）



11月1日に第7回三河湾大感謝祭が西尾市の一色さかな広場で開催されます。懇談会も参加する予定となっており、昨年の実績をベースに、次回 WG において、具体的な内容、情報発信の方法等について、協議していきます。



◆話し合いでの主な意見

(・意見 ▶回答)

●第1回勉強会(バスツアー)の計画について

- 参加者が50人となると、バスの中は密状態となる。万全の対策をとっていく必要がある。(光岡)
 - ▶マイクロバスを2台確保している。1台に25人が乗車する。移動時は窓を開けて移動する。(事務局)
- 3つの地域部会からあがっている9ヵ所全部を回るのは、時間的に難しいのではないかと。(光岡)
 - ▶つくラッセルは、活動状況等を講義形式で説明してもらうようにすると、時間に余裕ができる。(山本薫)
- 水源涵養モニタリング調査サイトで、説明と現地視察に要する時間はどれくらいか。(光岡)
 - ▶蔵治先生に確認したところ、1時間半程度必要とのこと。(事務局)
- 阿摺ダム下流(ソジバ)は、矢作川研究所の話が聞けると、より理解が深まると思う。(事務局)
- 1日目の弁当や場所などは、奥矢作森林塾(大島光利氏)に相談するとよい。(山本薫)
- 2日目で、時間を多くとるのが矢作川浄化センターだと思う。7月20日開催の海部会WGで確認する。(高橋)
- 2日目の行程終了後は、西尾駅を経由して豊田市駅に戻る。参加者は、西尾駅か豊田市駅のどちらか都合の良い駅で下車する。よって、2日目最後の場所で、バスツアーの締めを行うのがよいのではないかと。(光岡)
- 事務局は、本日の協議内容を整理し、バスツアーのスケジュール案を組んでほしい。7-8月の各地域部会WGでスケジュール案を示し、各場所の説明者、内容、スケジュールを決めていただく。(光岡)

●勉強会で話し合いたい内容について

【ネオニコ系について】

- ネオニコ系がミツバチに影響があるということ、ぜひ広めたい。(沖)
- ミツバチのような陸の生物だけでなく、水生生物への影響についても、話を聞いてみたい。(井上)
- かつて散布されていた農薬が、ある時期からネオニコ系農薬に替わったことは、あまり知られていない。ハチだけでなく、多くの昆虫、動物プランクトンにも影響がある。(山本薫)
- ネオニコ系は、節足動物すべてに影響がある。海につながっているので、矢作川流域圏懇談会で取り上げるテーマに適している。また、ネオニコ系農薬以外の代替案などを発信していけたらよい。(高橋)
- アキアカネをはじめとしたアカトンボ類へのネオニコ系農薬の影響については、いくつか論文がある。水田に生息するアカトンボ類は、ネオニコ系農薬の使用により、ほぼすべて死滅することが明らかになっている。(松沢)

【マイクロプラスチックについて】

- マイクロプラスチックは、知らず知らずのうちに大量に使われている。それらが川から海に流れて、いろいろな影響が出ているということ、ほとんどの人が知らない。(山本薫)
- 河川を通じて海に流下していくマイクロプラスチックによる生き物への影響など、勉強会で聞いてみたい。(井上)
- この問題は、川部会と同時に、川に関わる農地を扱う人たちにも広めたい。(沖)

【その他】

- 上記問題は、部会メンバーでの情報共有のほか、外部への情報発信を行い、若い世代の参加を促すとよい。(近藤)
- フルタイムで働く若い世代も参加できるように、勉強会の実施は、12月あたりの土・日を候補とする。(光岡)
- 若手中心で研究発表をしている矢作川研究所と、共催か後援という形がとれるとよい。広く情報発信できる。(井上)
- 個人的には、川の堤防の草がどうして元気なのか、栄養塩類の関係も含め、気になっている。(山本孝)

●流域連携イベント「三河湾大感謝祭」について

- 去年は、赤色立体地図を使って河川の氾濫など防災の話をしたら、ブースに人が集まった。また、木のおもちゃに加えて、新しくクイズやグッズの配布を行ったことで、多くの集客があった。(事務局)
- 今年は災害が多いので、ハザードマップなど、防災関連のネタは良いと思う。(高橋)
- 実施する場所がさかな広場のため、佐久島との連携で海とのつながりを感じるという企画などはいかがか。(近藤)
- 国土交通省からも、パネルやパンフレットなど、防災関係の展示や配布で協力できる。(事務局)
- SNSなど、若い人たちが使っているもので情報発信するとよい。(高橋)
- 勉強会のチラシを配るとよい。(井上)
- チラシに流域圏懇談会のQRコードを載せるなど、情報発信のサポートはできる。(事務局)

●振り返り

よかったと思うこと：山・川・海の相互理解を深めるバスツアーの企画／山・川・海共通の課題になる勉強会の具体化
今後取り組んでいきたい活動など：勉強会でアカトンボの減少の話を知りたい／技術情報の発信

今後の予定

■第8回市民部会WG ※8月6日、愛知県独自の「緊急事態宣言」の発令を踏まえ、下記の日程に順延が決定
日時：令和2年10月8日(木) 14:00~16:00 場所：豊田市崇化館交流館4階 第2会議室



◆お問合せ◆

矢作川流域圏懇談会事務局

〒441-8149 愛知県豊橋市中野町字平西1-6 国土交通省豊橋河川事務所 事業対策官 佐藤、専門官 竹下、技官 中村
TEL 0532(48)8107/FAX 0532(48)8100

*矢作川に関する情報は、矢作川流域圏懇談会メーリングリスト(yahagigawa@ijinet.or.jp)までお送りください。

